

## 2018年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時：2019年1月15日(火)18:00～19:40

場所：聖路加国際病院 2号館2階 メディアルーム

議長：片岡 弥恵子(委員長)

出席委員：片岡 弥恵子、鶴若 麻理、小林 京子、高橋 奈津子、青木 美紀子、大久保 暢子、川上 千春、  
小山田 恭子、三森 寧子、中田 諭、木下 康仁、中山 昌明、中村 めぐみ、墨岡 亮、  
鐘ヶ江 眞知恵、神里 彩子

欠席委員：小野 若菜子、縄 秀志、松井 陽、  
(出席者 16人をもって、委員会の成立)

### 1. 審議事項:新規申請(本審査)

#### ① 曾根 晶子 (成人看護学 博士)

「糖尿病患者のフットケアセルフマネジメントを支援する訪問看護師向け教育プログラム試案の評価:パイロットスタディ」

研究責任者(曾根氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

#### ② 稲岡 希実子 (国際看護学 博士)

「インドネシアの妊娠中の女性の家庭内受動喫煙を予防する、コミック教材を用いた介入の効果:ランダム化比較試験」

研究責任者(稲岡氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

#### ③ 高畑 香織 (助産学 客員研究員)

「陣痛促進剤の使用量による母乳育児および内因性オキシトシンへの影響:コホート研究」

研究責任者(高畑氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

#### ④ Lopes Katharina da Silva (国際看護学 特任助教)

「我が国の低BMIの妊娠女性を対象とした低出生体重児出生予防のためのマンガを用いたランダム化比較試験」

研究分担者(鈴木氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 保留

#### ⑤ 小野 若菜子 (在宅看護学 准教授)

「都市における“死別を支え合うコミュニティ”を育む教育プログラムの開発」

研究責任者(小野氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

## 2. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
18-A071	日米小児科学会予防接種プロジェクト作成教材を用いた標準化教育の効果	看護学研究科	助教	齋藤 あや
18-A066	インドネシアの妊娠中の女性の家庭内受動喫煙を予防するコミック教材の評価:質問紙調査	国際看護学	博士	稲岡 希実子
18-A067	ホスピス・緩和ケア病棟からの一時退院が遺族からみた患者のQOLに及ぼす影響とその関連要因	がん看護学・緩和ケア	修士	麻生 咲子
18-A072	分娩場所別の安全性に関するコホート研究	助産学	博士	妹尾 祥子
18-A073	慢性心不全をもつ高齢者が語る病いの経験に関する研究	在宅看護学	博士	西田 志穂
18-A074	混合研究法を用いた看護研究支援ツール(m-STAR-21)の妥当性の検討	老年看護学	教授	亀井 智子

## 3. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
終了報告	17-A009	小児看護学における患者安全教育の取り組み	小児看護学	助教	沢口 恵
終了報告	17-A010	地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-デルファイ調査-	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ
終了報告	17-A063	妊婦の妊娠後期から産褥早期の唾液オキシトシン値の変化とボンディング障害:予備研究	助産学	博士	宍戸 恵理

## 4. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。

## 5. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2019年2月19日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。